

FUTURE BEAUTY THE TRADITION OF REINVENTION IN JAPANESE FASHION FUTURE BEAUTY

日本 アッ シン



不連続の連続 不連続の連続

FUTURE BEAUTY THE TRADITION OF REINVENTION IN JAPANESE FASHION FUTURE BEAUTY

不連続の連続

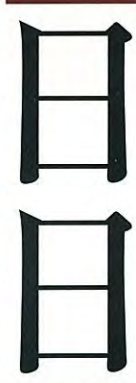
不連続の連続

不連続の連続

不連続の連続

不連続の連続 不連続の連続

FUTURE BEAUTY THE TRADITION OF REINVENTION IN JAPANESE FASHION FUTURE BEAUTY



FUTURE BEAUTY THE TRADITION OF REINVENTION IN JAPANESE FASHION FUTURE BEAUTY

FUTURE BEAUTY THE TRADITION OF REINVENTION IN JAPANESE FASHION FUTURE BEAUTY

日本 フ ショ



FUTURE BEAUTY | 日本ファッション：不連続の連続

2014.3.21 FRI - 5.11 SUN 京都国立近代美術館 | 岡崎 | THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO

開館時間：午前9時30分～午後5時 会期中の毎週金曜日は午後8時まで開館(入館はいつでも閉館30分前まで) 休館日：毎週月曜日 *ただし4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館 主催=京都国立近代美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団

FUTURE BEAUTY

THE TRADITION OF REINVENTION
IN JAPANESE FASHION

出展ブランド、作家

20471120

ANREALAGE

ASEEDONCLOUD

Aski Kataski

beauty:beast

COMME des GARÇONS

Etable of Many Orders

FINAL HOME

HANAE MORI

hatra

ISSEY MIYAKE

ISSEY MIYAKE MEN

JUNYA WATANABE COMME des GARÇONS

KENZO

KOJI TATSUNO

mame

日本ファッション：不連続の連続

20世紀後期以降、「日本ファッション」に世界が注目します。日本人デザイナーが発揮した独自の創造性から、ゼロ年代の新たな感性まで、彼らの作品100点余を、映像や写真と共に通観します。

20世紀後半、「日本ファッション」は日本経済の成長と共に世界へ羽ばたきました。1970年代、高田賢三や三宅一生が欧米で注目され始めます。81年、川久保玲や山本耀司がパリにデビュー。西洋ファッションの伝統的な美意識から解放された彼らの作品は〈前衛的〉と評されました。しかし、〈前衛的〉と評された表現が、今さまざまなレベルで一般化しているのを見れば、彼らがファッション界に与えた衝撃の大きさは明らかです。

より若い世代の日本人デザイナーたちは、サブカルチャーとの結びつき、既存のファッションの仕組みへの疑問など、社会の変化とそこに潜む問題を感じ取っています。彼らの服には、服と人との新たな関係を目指そうとする姿勢が見えます。

こうした「日本ファッション」の評価が、革新的な日本の素材に支えられていることも見逃せません。その先端技術に潜むのは、探求心と感性と、それを可能にする京都に代表される日本の伝統的な技でした。和服から洋服への転換で一旦途切れ、不連続に見える日本の服飾文化は、脈々と受け継がれているのです。

本展は、2010年のバービカン・アート・ギャラリー（ロンドン）を皮切りに世界5都市を巡回した「Future Beauty」展をもとに、〈着る〉文化の伝統を守り革新し続ける京都と現代ファッションのかかわりを浮き彫りにしながら、新たに構成するものです。



表|中央: writtenafterwards 2013年秋冬 リトタンアフターワーズ所蔵 ©京都服飾文化研究財団、荒木経惟撮影(*)、裏|左から順に: COMME des GARÇONS 2012年秋冬 林雅之撮影、Yohji Yamamoto 1996年秋冬 ①、Pleats Please Issey Miyake (PLEATS PLEASE Making Process 2012) 1992年/2012年 ©三宅一生デザイン文化財団 吉永恭章撮影(*)、SHINICHIRO ARAKAWA 1999年秋冬 ①、UNDERCOVER 2007年春夏 福永一夫撮影、JUNYA WATANABE COMME des GARÇONS 2004年秋冬 ②、ANREALAGE 2013年秋冬 ©ANREALAGE CO., LTD.、FINAL HOME 1994年春夏 津村耕佑氏寄贈 ①、COMME des GARÇONS 1997年春夏 ①、JUNYA WATANABE COMME des GARÇONS 2000年秋冬 ② 〔①高山崇撮影 ②広川泰士撮影(*)〕以外、京都服飾文化研究財団所蔵

観覧料=一般/当日:1,200円、前売:1,000円、団体:900円 大学生/当日:800円、前売:600円、団体:500円
高校生/当日:500円、前売:300円、団体:200円 中学生以下/無料

*団体は20名以上、消費税込込み *心身に障がいのある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください。) *本料金で同時開催の「チュコの映画ポスター」展及びコレクション・ギャラリー(4階展示室)もご覧になれます。◎前売券販売場所(2014年1月13日~3月20日までの期間限定販売)=チケットぴあ(Pコード:765-962)、ローソンチケット(Lコード:58774)、セブン-イレブン各店舗、京阪神の主要プレイガイドなど

関連企画

●特別講演 PARASOPHIA+Future Beauty共同プロジェクト

クリス・デルコン(テート・モダン館長)「21世紀のための美術+建築—テート・モダン」

日時:4月4日(金)19時~20時半(18時半開場) 会場:京都国立近代美術館1階 ロビー

先着150名(事前申込不要。当日17時から1階インフォメーションにて整理券を配布) 聴講無料 日本語逐次通訳付き

●連続レクチャー

第1回 串野真也(Masaya Kushino デザイナー)

+ 細尾真孝(株式会社細尾 取締役)

「京都の伝統、現在から未来へ—革新と挑戦」

日時:3月22日(土)14時~15時半(13時半開場)

第2回 森永邦彦(ANREALAGE デザイナー)

「色を着る、色を脱ぐ—アンリアルエイジと京都の技術」

日時:4月19日(土)14時~15時半(13時半開場)

第3回 堀畑裕之+関口真希子(matohu デザイナー)

「いま、輝く燈し火を一伝統とモードをつなぐ」

日時:5月3日(土)14時~15時半(13時半開場)

会場:京都国立近代美術館1階 講堂

聴講無料 定員:100名 *未就学児の入場はご遠慮ください

お申込方法:事前申込制(定員に達し次第締切)

お申込開始日:

第1回:2月24日(月)、第2回:3月17日(月)、第3回:4月7日(月)

お申込・お問合せ先:京都服飾文化研究財団

TEL:075-321-9221(受付時間は平日(月)~(金)の9時~17時)

その他、団体鑑賞プログラムやワークショップ等も予定。詳細は京都服飾文化研究財団(KCI)ホームページ<http://www.kci.or.jp/>にて随時お知らせいたします。

展覧会のお問合せ=京都国立近代美術館/〒606-8344 京都市左京区岡崎門勝寺町 TEL:075-761-4111 テレホンサービス[展覧会のご案内] TEL:075-761-9900 ホームページ <http://www.momak.go.jp> 京都服飾文化研究財団/〒600-8864 京都市下京区七条御所ノ内南町103 TEL:075-321-9221



京都国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Kyoto

後援=経済産業省、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、京都商工会議所、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、一般社団法人日本ボディファッション協会
特別協力=株式会社ワコール 協力=株式会社七彩、吉忠マネキン株式会社、JX日鉱日石エネルギー株式会社

交通=●JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番、岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)、銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番、岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から市バス46番、平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●市バス他系統「東山二条」又は「京都都会館美術館前」下車徒歩約5分 ●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分 *京都都会館美術館前は3月22日(土)より「岡崎公園 美術館・平安神宮前」に名称が変更になる予定です。*岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられます。駐車券をお持ちの上お越しください。